

スピリチュアル物語

27話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

トランスマリオート内スターボックス(要予約):1時間 \$60

メール相談:(要予約):majyotomoe@gmail.com \$16/1件(Paypal)



「サイキック能力が闇に使われてしまう可能性もあるのに、宇宙がそれを人間性を吟味せずに与えてしまうのは何故だ?」不満気なウイザット。「それは…人は宇宙からそれぞれに様々なギフトを貰ってこの世に誕生して来るからじゃ。厳密に言えば、魂としての自分と宇宙との契約として、ということになるがな」「契約?」マジリアルが言葉を挟む。「契約とはお互いにリスペクトを持つてのエナジー交換じゃ。宇宙はワシら人間を地球に送り込む際に、最大限のリスペクトを持つてギフトをくれるんじゃないよ」「才能とか特技ですか?」再びマジリアル。「ん〜。それも一つのギ

フトじゃが、それ以外に、人間的解釈では不運と思えることも実はギフトなんじゃよ」「えええ〜?そんなもの僕には要らないよ」「ウイザットが不満そうに顔を歪める。「確かに人間的解釈で捉えたり、そのことだけ、短いスパンだけで判断すると、そんなものは要らないとしか思えんじやろ。しかし、人がこの地球にやって来る目的は、宇宙と契約して戴いたギフトを、如何に光として活用するか、なんじやよ。人間的解釈、またはそのことだけ、短いスパンだけを見ると不運と思えることも、結果的には必ずやその人の人生の糧となり光を呼び込むことに繋がるんじゃない。更に、宇宙は

ワシら人間に自由意志というものを与えてくれておる。よって、どんなギフトもその自由意志に基づいて使うことが出来る。使い方次第で、その魂が宇宙に徳を積むか、悪徳を積むかが変わってくる訳じゃ。便利な道具である包丁で美味しい料理を作れることも出来るが、使い方次第では闇の武器ともなる。サイキック能力もそれと同じなんじやよ」



★これまでのお話(1~26話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

www.majotomoe.com お話の続きは2月10日号をお楽しみに!